

# ナショナルチーム強化合宿を上村総監督が訪問

## 2007第2回ナショナルチーム合同強化合宿

### ナショナルチームを中心に12名の選手が参加

10月22(月)～26日(金)にかけて、千葉県長柄町の日本エアロビクスセンターで、2007第2次JTUナショナルチーム強化合宿が行われた。

参加したのは、関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、井出樹里(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)、古谷あかね(トヨタ車体)、大松沙央里(トヨタ車体)、忽那静香(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)、中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)、田山寛豪(チームテイケイ)、山本良介(トヨタ車体)、細田雄一(ウイダー)のナショナルチームメンバーに菊池日出子(チームテイケイジュニア)と杉本宏樹(チームテイケイ)の12名。山根英紀GM以下8名のコーチたちが指導に当たった。



前列左から関根、大松、井出、上田、中西、忽那、後列左から菊池、古谷、山本、田山、細田の各選手。このほか、杉本選手も参加した

上田 藍  
(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)



今年は結果を求められた1年だった。やっと日本選手権で「本番力」を発揮できてホッとした。アジア選手権、世界選手権でまあまあの結果だったが、ワールドカップのレースがよくなかった。北京のワールドカップではバイクで積極的なレースができて手応えがあった。



上村春樹北京オリンピック総監督(左)は、「北京オリンピックのキーワードは『技』。『やりきる』『がんばりきる』『走りきる』の三つの『きる』を合い言葉に戦っていく」と、選手たちを激励。ナショナルチームに贈られた金一封を受け取る田山選手

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



# ナショナルチーム強化合宿を上村総監督が訪問

## 2007第2回ナショナルチーム合同強化合宿

この合宿は、日本選手権の直後であり、今シーズンのレースを残しながらのものであるが、「ナショナルチームがさらに一丸となり、来年の北京オリンピックに向けて日本チームとして戦っていくための基本をつくる」目的であると山根MGRは語った。さらに、「来年は、北京オリンピック出場選手が決まってから合宿を招集することになる」と付け加えた。

25日には、財団法人日本オリンピック委員会(JOC)から上村春樹北京オリンピック総監督と強化事業部の萩原直樹氏が合宿を訪れ、「北京オリンピックは、『やりきる』『がんばりきる』『走りきる』の三つの『きる』を合い言葉に戦っていく」と、参加した選手たちを激励した。

また、JOCから金一封がナショナルチームに贈られた。



日本エアロビクスセンターのプールで練習に励む選手たち

### 関根 明子

(NTT東日本・NTT西日本)



この1年は、昨年より成績が落ちて、少し良い年になった。アジア選手権では優勝できたが、日本選手権を取れなかったのは油断があったからかもしれない。周りが伸びてきていることに警戒心が薄かった。来年にむけて、調子が上がっていく確信が持てた。

### 田山 寛豪

(チームテイケイ)



日本選手権が終わって、疲れが出ているところ。今年は、力を出し切れないレースが続いて不完全燃焼だった。ここに来てスイムから全力で行くという自分のスタイルを再確認できて、やっと自信が戻ってきたところ。それが日本選手権の結果につながった。今後は北京に向けてまとめていく。

### 山本 良介

(トヨタ車体)



昨年アジア大会でやっと走れる状態になって、その自信をもって今シーズンに挑み、滑り出しは良かったが、アジア選手権、世界選手権では結果が出なかった。まだ、安定感のあるレースができていない。ランに入ったときの勢いを中盤、終盤の速さにつなげたい。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

